

# JPIC NEWSLETTER

通巻 190 号

2017 年 9 月 28 日

## JPIC読書アドバイザー養成講座 第25期を開講しました！

去る8月25日、「第25期 JPIC読書アドバイザー養成講座」の開講式を日本出版クラブ会館で行い、今期の講座をスタートいたしました。

読書をテーマとした生涯学習の一環として、平成5年より行っている当講座では、今回も100名の定員を上回る応募があり、北海道から沖縄まで、18歳から76歳までの幅広い年齢層の受講生が集いました。開講式では、JPIC・小柳専務理事より受講生の皆様へ「社会全体で読書活動の魅力や重要性を伝えていくことが大切。一緒に活動していきましょう」と激励の言葉が送られました。

来賓の日本書店商業組合連合会の船坂良雄会長からは、お祝いのことばとともに「ネットでの換金を目的に、万引き被害が深刻化し、書店経営が危機的状況に立たされている」との現状が伝えられました。



東京大学文学部・沼野充義教授による「世界の文学を読む」と題した記念講演では、海外の優れた数々の作品が紹介され、受講生は熱心にメモをとっていました。

またパネルディスカッションとして行われた永江朗氏と先輩読書アドバイザーによる対談のあとには懇親会が開かれ、受講生一同が会話に花を咲かせ、共に学んでいく仲間同士の親交を深めました。

翌26日に開催されたスクーリングでは、現在の出版産業について考察するグループディスカッションや津野海太郎氏による講義が行われました。今後受講生は、平成30年3月19日までの7カ月間、計4回、8日間のスクーリングと全3回のレポート課題に臨みます。

## 第四回「北海道書店大商談会」 好天に恵まれ、盛況

去る9月5日、「北海道書店大商談会」実行委員会(実行委員長：中尾邦幸・マル五中尾書店社長、事務局：JPIC)は、札幌パークホテルにて第四回「北海道書店大商談会」を開催いたしました。

同商談会は書店・出版社が参加しやすいよう、トーハン会、日販会の各北海道総会を前・当日にあわせて開催しています。

出展社数は115社・115ブース(前年107社・106ブース)。来場書店数は219名、商談成立額は1,016件、21,623,404円(同：203名、826件、16,441,273円)となり、前年比131.5%と昨年を上回る結果となりました。

開会式では、中尾実行委員長が、「北海道では約60の市町村で書店のない街があり、書店数も減っている。厳しい状況ではあるものの、私たちリアル書店は読書環境を守っていく使命がある」と挨拶。



第二回目となる今回の「北海道ゆかりの本大賞」では、「文芸書部門」「コミック部門」の2部門を設け、前者には、増田俊也氏の『北海タイムス物語』(新潮社)が、後者には野田サトル氏の『ゴールデンカムイ』(集英社)が選ばれました。

また道内出版社コーナーには11社が参加、北海道の魅力を伝えるお薦めの良書22点が並び、多くの来場者が手に取って見入っていました。

当日はテレビ局が三社取材に入り、またYahoo!ニュースにも掲載されるなど、次回開催の盛り上がりへと期待をつなぎました。

今後、書店商談会は東京(10/26)、大阪(11/7)でも開催いたします。詳細につきましては同封のチラシをご参照ください。